

平成30年度 国語科授業の略案 (1年A組)

月日 (校時)	単元名	教材名
7月2日 (月) (2校時)	④・⑤・⑥を つかおう	
本時のねらい (本時 2/3) ○助詞「は・を・へ」の使い方を理解することができる。		
評価規準 言 「は・を・へ」の使い方を理解し、正しく使っている。(発言・ワークシート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 9:30	○前時の学習を振り返る。 ○わにの唱え歌を音読する。	・前時の学習の振り返りをする。
【展開】 課題把握 9:35 9:40 ・問いの共有 9:43 ・シラバス ・言語わざ 9:45 自力解決 ・一人学習 ・ペア学習 9:55 ・全体学習 ・考察 集団解決 まとめ 10:05	1 課題を確認する。 「は・を・へ」の「つかいかたをみつけて、ただしくかこう。」 ○「は・を・へ」は文の中でどのようにつかわれているでしょう。 ・「を」は、上に何か言葉がついています。 ・「は」も「へ」も上に何か言葉がついているときにつかうと思います。 《1人でチャレンジ(4分)・ペア学び(3分)・全体学習(20分)・まとめ(3分)・振り返り(2分)》 言語わざ:「理由をつけて話す」 2 間違いを探して、正しい文に書き直す。 ○使い方の間違いを見つけて書き直しましょう。 ・「わにわ」は「わには」と書きます。 ・「かおお」ではなく、「かおを」と書かないといけません。 ・「いええ」はまちがいで、「いえへ」と書きます。 3 分かったことについて、話し合う。 ○全体で伝え合いましょう。 ・「は・を・へ」を「わ・お・え」とよむときは、必ず上に言葉がくっつきます。 ・「を」が上になる言葉はありません。 4 学習のまとめをする。 ○「は・を・へ」の使い方のまとめをしましょう。 「は・を・へ」は、ほかのことばにくっついてつかう。	「は」「を」「へ」 「は」は「わ」と読む。 「を」は「お」と読む。 「へ」は「え」と読む。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが持てるようにする。 ※間違った使い方を書いた文を間違い直しをし、正しく書き直すことで意識化させる。(ワークシート) ・自力解決が進みにくい児童には、近くの児童にヒントをもらってよいことを伝える。 関 「は、を・へ」の使い方に気づいている。(発言・ワークシート)
【終末】 ふりかえり 10:10	5 学習したことを振り返る。	・「は・を・へ」の使い方を学習して、分かったことを振り返る。